

資料6

地産地消月間の取組み

～地産地消学校給食献立を活用した食育（いわき市立磐崎小学校）～

1 ねらい

- (1) 地元で生産される食べ物を使用した給食をとおして、地元の農業、水産業についての知識をもつことができる。
- (2) 食べ物の生産や流通、給食実施に関わる方々等と接することにより、生産についての理解を深めると共に、食べ物を供給してくれることへ感謝する心を育てることができる。
- (3) 地産地消の意味となぜ地産地消を進めることが大切かを知ることができる。

2 方法

(1) 地産地消献立の実施

福島県地産地消月間にいわき市の産物を使用した給食献立を実施する。

① 実施日

② 平成21年12月9日（水）

- ごはん（いわき市産米100%） 牛乳（県内飼育乳牛より搾乳）
- **地元産さんまハンバーグいわき産野菜のプルコギソース**
（さんま：いわき市内漁港水揚げのさんま使用）
（ハワイアンズ高橋料理長考案献立（給食のために考案））
プルコギソース：（いわき市産野菜使用 ねぎ、エリンギ、小松菜、）
- かにと野菜のスープ（いわき市チンゲン菜使用）

(2) 献立の説明資料（ランチタイムニュース）の配布

(3) 食に携わる方々と児童の会食

学級で1名から2名の農産物生産者、漁業関係者、流通関係者、献立作成者等と会食しながら話を聞く。

（※ 会食を行う学級は、社会科で地域について学習する4学年以上の上学年（4、5、6学年））

(4) 保護者向け給食だよりの配布

保護者に対する地産地消啓発のため、地産地消献立のレシピや児童との会食のようすを給食だよりに掲載し、家庭に配布する。

（※ 10月に予定していましたが、台風による休校のため12月に実施します。）